

「ほっとルーム」だより

第92号 平成28年 4月吉日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 TEL 21-5130)



入学・進級おめでとうございます。

桜の花が咲き誇る中、入学・進級の季節になりました。黄色い帽子をかぶった元気一杯の1年生が、お父さんやお母さんと一緒に登校する姿や、1学年ずつ進級したみなさんが元気よく登校する姿に、新しい年度のスタートを感じていらっしゃるのでしょうか。

1年生の保護者の皆さん、入学おめでとうございます。小学校入学は、今迄と大きく違う体験をするため、子どもたちは、大人が考える以上に、身体的・精神的にとっても疲れがちです。話をしっかり聞いてあげて、受け止める言葉かけをしていきたいですね。

あいさつに、元気をもらいます。

朝、洗濯物を干す時に、いつも家の前の道路を登校する高学年と思われる小学生がいます。私に気づくと、大きな声で「おはようございます」と言ってくれます。こちらも負けずに声を張り上げて、「おはようございます。行ってらっしゃい」と返します。きっとこのお子さんは、だれにでもあいさつしているのだろうと思うことでした。

「あいさつは心を開いて相手に迫る」という意味と聞いたことがありますが、元気なあいさつに、元気をもらいます。

家庭教育支援チームです。

子どもたちの健やかな成長を願って、子育てを応援します。
子育ての喜びや悩みをお聞かせください。

黒江 康子

上原 郁代

寺師 真由美

尾場瀬 ちなみ

引坂 真奈美



家庭訪問を始めます。

4月から2年生(昨年度1年生の長子家庭)の家庭訪問を始めます。その後、新1年生長子家庭訪問をする予定です。学校の家庭訪問と違って、玄関先で結構です。また、仕事等でお留守でも気にされなくてもよいです。訪問名刺をポストに入れておきますので、ご希望の日時があったら、お知らせください。(21-5130)

子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽に、ご相談ください。一緒に語りましょう。

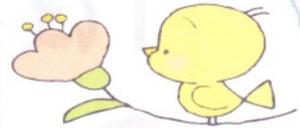
ほっとルーム：教育委員会 社会教育課内

TEL 21-5130 : FAX 36-5044 : いちき串木野市ホームページ(子育て)

※ ご希望があれば、長子に限らず、どの学年でも訪問いたします。

引き続き「子育て」を応援します。

「家庭教育支援事業」は
心の扉をノックする相談・支援活動です。



家庭教育支援事業も取り組みはじめて8年目を迎えます。本年度も家庭教育について、保護者の皆様の手助けになるために、下記のとおり「家庭教育支援事業」を継続実施します。

〈Ⅰ〉家庭教育支援員が相談活動をします。

(1) 小学校低学年(1・2年生)の長子家庭を訪問します。

- ・いちき串木野市の全小学校対象
小学校1年生長子の家庭訪問(年3回)
2年生(旧1年生長子)の家庭訪問(年1回)

(2) ほっとルームの出前サロン「おあしす」を開設します。

- ・PTA時に、お茶を飲みながら、子育てや家庭教育について語りましょう。
- ・本年度は、小学校だけでなく**幼稚園等**でも開設予定

(3) 電話相談や「ほっとルーム」への来室相談もいたします。

〈Ⅱ〉「ほっとルーム」だよりにより、家庭教育に関する情報を提供をします。

〈Ⅲ〉各地区の母親学級や母親セミナー等の訪問をします。

・市内小学校の家庭教育学級や各地区婦人会主催の母親学級、読み聞かせグループ等を訪問し、参加・広報を行います。

〈Ⅳ〉年2回アンケートを行い、取組に活かします。

〈Ⅴ〉企業との連携を深めます。

- ・企業の方々に「ほっとルーム」だよりを配布します。
- ・連絡協議会の委員になって貰っています。
- ・子育てや家庭教育についての提言をいただいています。

〈Ⅵ〉「家庭教育支援連絡協議会」を開きます。

- ・効果的な家庭教育支援の在り方について協議し各団体と連携を深め、共通実践していきます。

市教育長(会長)、小学校長代表、市まち連代表、市婦人会代表、民生・児童委員代表、市福祉課等の関係機関、商工会議所代表・青年会議所代表、子育てグループ等で構成



「おあしす」の様子

〈「ほっとルーム」だより〉

本年度も、月1回程度、「ほっとルーム」だよりを発行いたします。主に子育てや家庭教育についての情報提供をいたします。読んでいただければありがたいです。

豊かな感受性にあふれた**子どもの詩**

くも (6歳)

しろい くもが
くろい くものなかへ はいった
おんぶして いるのかな

灰谷 健次郎編「たいようのおなら」より

